

## ■ 会員の活動

### 「特別養護老人ホームの消防訓練（夜間想定）」で指導

寺岡 芳孝（兵庫県 防災士）

姫路市にある「社会福祉法人 播陽灘（田上龍太郎、理事長）」では、「特別養護老人ホーム いやさか苑（田上優佳、施設長）」での令和2年度第2回消防訓練の実施にあたり、県消防課（ひょうご安全の日推進県民会議事務局）に「ひょうご防災特別推進員」の派遣要請を受けて、NPO 法人兵庫県防災士会（日本防災士会兵庫県支部）寺岡芳孝防災士（ひょうご防災特別推進員）が派遣され指導をしました。



（特別養護老人ホームいやさか苑）

今回の消防訓練は「新型コロナウイルス感染症対策」の関係から、最小人員による夜間想定での重度入居者の避難訓練などを実施しました。

老人介護福祉施設等では特に夜間は、介護職員数に比べて要介護入居者数が圧倒的に多いため、火災が発生すると惨事につながりやすい状況です。

当施設も多数の自力避難の困難（重度）の方が入居しており、夜間火災が発生した場合には、「火災の通報、初期消火、避難誘導等」を極少ない人数の当直介護職員と宿直職員で対応することになります。

そのためには、施設に設置されている消防用設備等の確認や使用方法を熟知し、有効活用する必要が重要です。

#### 記

- ・ 目的 火災発生時に適切で迅速な対応ができるよう訓練を行い、併せて職員の防火意識の向上を図ることを目的とする。（宿直職員と当直介護職員の連携）
- ・ 日時 令和2年12月16日 13時30分～14時30分
- ・ 出火想定 想定火災発生時間 午後11時頃 場所 2階 居室（〇〇ユニット）
- ・ 訓練内容 夜間の火災発生を想定  
初期消火訓練（態勢：消火器を使用）  
通報訓練（態勢：火災通報機使用）  
避難誘導訓練（態勢：重度入居者のベッド使用での避難）
- ・ 参加者 宿直職員及び当直介護職員等10名（新型コロナウイルス感染症対策で最小人員）

文責：寺岡 芳孝

## 2020年12月16日 消防避難訓練(夜間想定)実施の様子



訓練後の反省会 (1)



反省会 (2)



訓練開始の案内放送



1階当直者に現場確認と報告依頼



消防署の送信呼び出しへの報告



寿当直者が火災報知器のボタンを押す



禄当直者に応援を求める



禄当直者が応援に向かう



二人の当直者が居室からベッドごと利用者を避難させる



1階当直者は防災士から指示を受ける



3階から福当直者が応援に来る



消火器の使用方法について指導を受ける



1階当直者は状況を報告する



反省会で防災士から消火器の使用  
方法について指導を受ける



火災現場から利用者をベッドに  
乗せて救出する